

ミドリ

midori

No.130



公益財団法人
かながわトラストみどり財団

AUTUMN
2023



牧野富太郎と横浜植物会
大磯町の竹工芸

藤塚松星さんが人間国宝に



絵/横山 寛多

もくじ

- 01 連載 虫とりの日常③
「夏といえば虫とりですね!」 横山 寛多
- 02 牧野富太郎と横浜植物会
県立生命の星・地球博物館々長 田中 徳久
- 04 大磯町の竹工芸 藤塚松星さんが人間国宝に
インタビュー
竹のこれから、竹工芸について学ぶ(前編)
竹工芸作家 藤塚松星
- 06 令和4年度 財団事業報告
- 09 新規優待施設の紹介
雑貨カフェ式部 小網代陶房
2023 年度自然観察会&森林ボランティア
- 10 やどりき水源林のつどい/ジュニア・フォレスター教室
- 11 協力企業の紹介
住友三井オートサービス(株)
京急夏休み SDGs フェア展
- 12 マキ寄附、感想を送ってプレゼント
- 13 財団事業へ寄附キャンペーン

会員の皆さまへ

- ※転居先不明で返送されるケースが増えてます。
住所などの変更がありましたらご連絡ください。
- ※機関誌「ミドリ」は財団公式WEBサイト
(<https://ktm.or.jp>)で読むことができます。
発送停止をご希望の方は財団事務局までご連絡ください。

表紙の 写真



子どもたちがリポートレッキング。岩や堰堤を乗り越えて川の
上流を目指します。
(撮影:2023年7月23日(日)南足柄市広町)
記事→「ジュニア・フォレスター教室」 P10へ

晒竹の色(さらしだけの色)

竹にまつわる色は様々で、若竹色から青竹色、老竹色と、
年期を重ねるごとの色があり、また、囲炉裏や竈の煙に
燻された「煤竹(すすだけ)」に関しては銀煤竹や藤煤竹など
十数種類の色を見比べることができます。

今回は趣向を変え色見本にはありませんが、竹工芸で扱
われる晒竹(さらしだけ)の色、白竹、白錆(しろさび)の色を
取り入れてみました。

かながわの未来に、今できること



公益財団法人

かながわトラストみどり財団

1985年に発足以来、神奈川のみどりの保全と創造に関する
様々な活動を展開しています。約1万人の会員の支援や募金寄附、
ボランティアの皆様の協力を受け、今ある自然環境を次の世代に
引き継いでいけるよう取り組んでいます。

☎ 045-412-2525

✉ midori@ktm.or.jp

✂ @kanagawa_midori

📘 facebook.com/ktm.or.jp

📷 kanagawa_trust

会員 & 寄附募金のお知らせ

トラスト会員を募集しています。どなたでも会員になれます。ご支援ください!

普通会員(トラスト会員)

かながわのみどりを守り育てる運動を支える会員です。

| 個人 | 年会費 | |
|-------|-----|---------|
| | 大人 | 2,000円 |
| 家族 | 1家族 | 3,000円 |
| 法人/団体 | 1口 | 10,000円 |

トラスト緑地保全支援会員 (オプション・任意加入)

普通会員の方に任意の加入で特定の緑地を支援していただく会員です。

| 個人/家族 | 年会費 | |
|-------|-------|---------|
| | 個人/家族 | 3,000円 |
| 法人/団体 | 1口 | 10,000円 |

※5年分の会費を1回でお払いいただくと6年間会員になれます。

財団への会費や寄附は税額控除の対象になります。

現在の会員数

(2023年6月末現在)

| | 普通会員 | 緑地保全支援会員 |
|---------|--------|----------|
| 個人会員 | 3,480人 | 466人 |
| 家族会員 | 5,649人 | 720人 |
| 法人・団体会員 | 330人 | 44人 |
| 特別・名誉会員 | 310人 | |
| 計 | 9,769人 | 1,230人 |

遺贈による寄附について

近年、遺言による寄附について関心が高まり、遺贈を受けた公益事業を推進しております。遺言の財産受取人として、公益財団法人かながわトラストみどり財団をご指定いただけます。

「かながわトラストみどり基金」への寄附状況

寄附累計額(2023年6月末現在)

14億6,591万9,111円

寄附者名(2023年4月~6月)※敬称略、アイウエオ順

イオンバーカリー株式会社、イオンペット株式会社、イオンリテール株式会社南関東カンパニー、ウエイズグループ 一般社団法人神奈川県測量 設計業協会、株式会社タズミ、羽鳥亨、浜銀ファイナンス株式会社、株式会社未来屋書店

「かながわトラストみどり財団」への寄附

財団へ寄付をいただきましたのでご紹介いたします。誠にありがとうございました。

寄附者名(2023年4月~6月)※敬称略、アイウエオ順

青木 清、阿部 清二、池谷 善博、池田 宏、池戸 誠二郎、大田 哲夫、尾崎 俊朗、小澤 八重子、笠原 彰仁、片尾 マリ子、角田 真美、金子 和子、(株)サニクリーン東京、川満 久恵、久保 幸子、小網代会館、小菅 和子、小手川 悦子、齋藤 友佳理、齋藤 吉之・和子、佐藤 三郎、柴崎 えつ子、清水 健二、清水 紀彦、菅野 実、杉崎 和行、鈴木 史人、高田 隆、丹野 優、常松 伴文、日産プリンス神奈川販売労組、新田 七恵、(株)日本ウォーターテックス、野村 昌夫、羽鳥 亨、早川 武、平岡 大作、船田 嗣寿、堀井 成子、増子 忠治、本橋 孝、山村 宣夫、山本 八千代、渡部 明

※掲載の承諾をいただいた皆さまをご紹介させていただいております。



絵と文 横山 寛多 (絵本作家・イラストレーター)

夏休みになると近所の子ども達が遊びに来る。我が家の庭先でトカゲやセミをとるらしい。

一緒に近くの公園や山へ虫採りに行くこともある。公園や山だと子どもは元気になる。

きっと土の地面がその源になっているのだと思う。

最初は虫にさわれなかった子どもも、一夏が終わる頃には自分でセミを捕まえて持てるようになった。

夏と言えば虫、と思われがちだけれど、春から初夏にかけての方が虫のバリエーションは豊富だし、暑いと虫もあまり動かない。

夏はやはり、夜の虫採りが楽しい。

カブトムシやクワガタはいつだってカッコいい。

子どもの頃にはなかなか行けなかった夜の山へ好きなだけ行けるんだから、大人になってよかったなあ、などとのんびり思っていたら、警察に声をかけられた。「何してるんですか？」ってこの格好を見てわからないのか、と悲しかった。

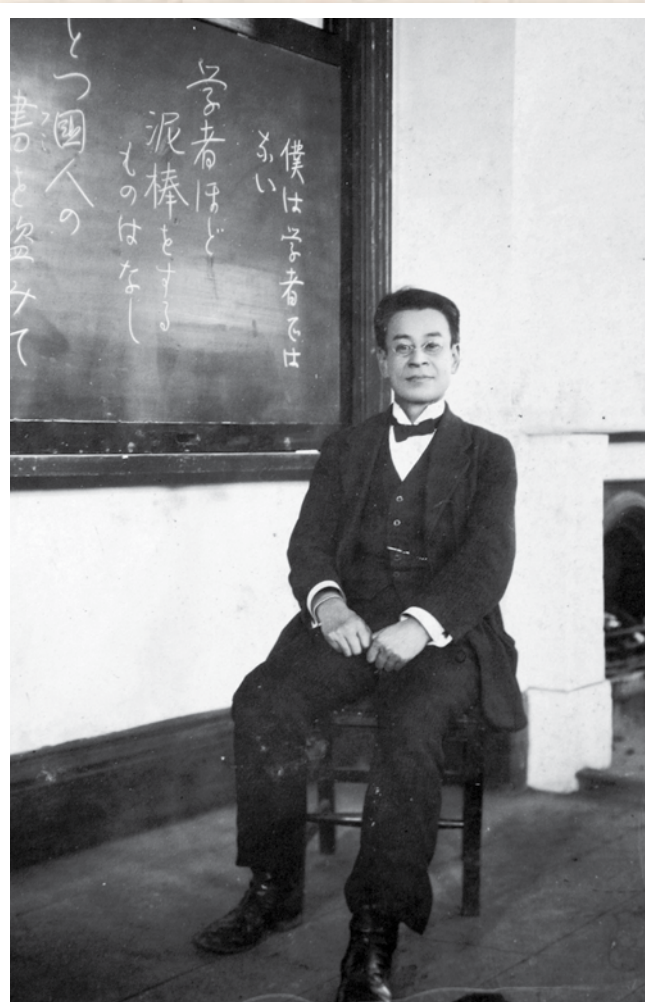
やはり子どもの頃からちゃんと虫採りに連れて行かなければならない。

牧野富太郎と横浜植物会

県立生命の星・地球博物館々長 田中 徳久

はじめに

2023年度前半のNHKの朝の連続テレビ小説「らんまん」で、主人公のモデルとされているのは日本の植物学の父とも呼ばれる牧野富太郎です。牧野は日本各地でその地方の植物愛好家を指導するとともに、自らも各地で植物標本を採集しました。また、指導した地方の愛好家から植物標本の同定(植物の名前を明らかにすること)を依頼されました。その生涯に収集した植物標本は40万点を超えると言われ、その多くは東京都立大学の牧野標本館に収蔵されています。



(図1)横浜植物会例会の牧野氏。大正5年1月23日。神奈川県立第一中学校 現・県立希望ヶ丘高等学校(伊東初太郎の孫である三谷 創氏提供)。

横浜植物会

神奈川県には日本最古の植物愛好会である横浜植物会があります。会は1909(明治42)年、牧野を講師に迎え、横浜市中区にあった丸善薬店に誕生しました。後に『神奈川県植物目録』(1933)を編纂した松野重太郎ら5名が発起人でした。初期の会員には久内清孝や清水藤太郎、武田久吉、館脇操、岡田要之助、伊東初太郎ら、錚々たるメンバーが名を連ねていました。牧野は講師として会の指導を引き受け、室内例会で講演したほか(図1)、会員とともに神奈川県内はもとより、富士山や伊豆などで植物を採集しています。



(図2)現在の横浜植物会例会(朝比奈 峠 令和4年9月28日 撮影:渡辺重彦)。

横浜植物会はその後も活動を続け、2009(平成21)年に100周年を迎え、100周年記念誌『横浜植物会の歴史』を刊行しました。現在でも誕生当時と同様、月1回程度の例会(当時は採集会と講演会でしたが、現在は観察会と講演会です)を開催し、牧野の植物知識の普及の遺志を汲み、会員への植物知識の普及に努めています(図2)。

また、近年では神奈川県植物誌調査会の手になる『神奈川県植物誌1988・2001・2018』のための調査に協力し(次号で詳しく紹介します)、2003(平成15)年には『横浜の植物』を刊行しました。これらは標本を元にした分布図を掲載した学術的な成果で、牧野の標本に対する情熱を引く継いだ活動だと言えます。

横浜植物会に所縁のある牧野標本

横浜植物会の関係者が発見あるいは採集した標本に基づき牧野が新種として記載した植物は数多く、会員に献名された植物には、松野重太郎に献名されたヨコハマダケ *Arundinaria matsunoi* やハコネグミ *Elaeagnus matsunoana*、久内清孝に献名されたオカイボタ *Ligustrum hisauchii* やヒメズタケ *Ligustrum hisauchii*、清水藤太郎に献名されたハコネナンブスズ *Sasa shimidzuana*、武田久吉に献名されたイワシャジン *Adenophora takedae* など、枚挙に暇がありません。もちろんこれら以外にも、神奈川県内で牧野が自ら採



(図3)タマノカンアオイ *Asarum tamaense* Makino (ウマノスズクサ科). 牧野が1931年に新種として記載した. 牧野が1894年に登戸(川崎市)で採集した標本が基準標本とされる(東京都 令和5年4月16日. 撮影: 田中徳久).



(図5)右から澤田武太郎、久内清孝、牧野富太郎ほか、箱根山中にて(澤田秀三郎氏提供; 生命の星・地球博物館蔵).

集して命名した植物には、タマノカンアオイ(図3)やコガネシダなど、多くが知られています。

※上に記した学名(生物につけられるラテン語で表記された国際的に通用する名)は、牧野が新種として記載した際のもので。

また、今では県内から失われた植物の標本も多く残されており、ハマウツボ(図4)やホソバイラクサ、サデクサなどがあります。これらの植物は、その後の自然環境の変化や各種開発などで今の神奈川県内ではその姿を見ることはできません。ですが、これらの残された標本は過去のそれぞれの時点、場所に、それぞれの植物が確かに存在していた証拠として重要なものです。このような標本を「自然の証拠」として、過去から未来に引継ぎ継承し続けることは、博物館の重要な使命の一つになります。

連綿と引き継がれる標本

筆者の勤務する神奈川県立生命の星・地球博物館は歴史が浅いため、牧野が採集した標本は所蔵していません。

ですが、縁あり牧野と同時代の澤田武太郎のコレクションを所蔵しています。澤田は東京大学植物学教室に出入りし、横浜植物会で久内清孝と知り合い同会の講師であった牧野を師と仰ぐようになりました(図5)。澤田の標本は新聞紙の半紙大の台紙に貼付された立派なもので、本田正次は「牧野博士も舌を捲いてはめていたほど」と記しています(1978)。図6に示したのは澤田が採集したカツラの標本で箱根で採集された自生だと考えられる唯一の標本です。

また、牧野らの日本人の手により日本の植物研究が推進されるより古い時代の標本は西洋人の手により採集され、それぞれ本国の植物標本庫に今も残されています。例えばドラマ「らんまん」にも名前が登場したサヴェツェの標本はパリの自然史博物館(フランス)に、マキシモヴィッチの標本はサクントペテルブルグのコマロフ植物研究所(ロシア)に今も残されています。

先に記したように、採集された標本は過去から現在、そして未来へと連綿と引き継がれていきます。「自然の証拠」として未来に引き継がれた標本を収蔵する標本庫は、タイム・カプセルになぞらえます。

(次号は「神奈川県植物相調査」)



(図4)ハマウツボ *Orobanche coerulescens* Stephan ex Willd. (ハマウツボ科) 1927年に牧野が平塚で採集した標本。神奈川県内では絶滅したと考えられている(MAK176551; 東京都立大学牧野標本館所蔵)。



(図6)カツラ *Cercidiphyllum japonicum* Siebold & Zucc. ex Hoffm. & Schult. (カツラ科). 1936年に箱根町で澤田武太郎が採集した標本(KPM-NA0208469; 神奈川県立生命の星・地球博物館所蔵)。

【謝辞】 貴重なお写真を提供いただいた三谷創、澤田秀三郎の各氏と横浜植物会、所蔵標本の撮影を許可いただき、使用させていただいた東京都立大学牧野標本館にお礼申し上げます。

【参考】 本田正次, 1978. 随想: 私の自然(2) 箱根八里. 国立公園 (338): 12-13.

プロフィール

たなかのりひさ
田中徳久

県立生命の星・地球博物館々長。専門は植物生態学。写真はロシアのコマロフ植物研究所でのマキシモヴィッチの標本調査の一コマ。





彩変化花器「月舟」 撮影／増尾峰明
Moon Boat "Tsukifune" (2021年)

大磯町の竹工芸 藤塚松星さんが人間国宝に 竹のこれからと竹工芸について学ぶ（前編）

国の文化審議会が2023年7月に大磯町の竹工芸作家、藤塚松星^{しょうせい}さんを新たな重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定するよう文部科学相に答申しました。人間国宝は、芸能や工芸技術等を高度に体得した個人や団体を国が認定するもので、工芸技術分野においては木竹工のほか、陶芸や染織、漆工や金工などがあります。

森林や緑地は自然の産物を生み出す所で、人の生活には欠かせない資源であり、中でも竹林は用途が広く、しかも食材にもなる特別な植物です。また、伝統工芸として竹のザルやカゴなど日常生活で使われる用途を備えながら、歴史を重ね芸術にまで昇華した工芸品へと醸成しました。

このたび、人間国宝になられた藤塚さんに竹工芸の魅力や藤塚さん独自の伝統と革新の作品づくりについて話を伺いました。



彩変化のしくみを説明する藤塚さん

■竹の可能性と芸術

昔から竹の用途はたくさんありますよね。木より軽く、丈夫でしなやかさがあります。よく物干し竿や支柱に使っていました。また細かく割れば、ひもで編んでスダレにも。より薄く削ってヒゴにして編んでいけばザル、カゴになる。ただし、そのほとんどが今ではプラスチックに代わりましたが、茶道や華道をやられている方は今でも馴染みがあるのではないのでしょうか。茶道具では「茶杓」や「茶筌」、「蓋置」など、その自然で質素な素材を扱うことで侘び茶を極めていきます。また、ヒゴで編んだ花カゴや竹幹



左上／胡麻竹茶杓「枯淡」(2006年)
左下／「涛」(1978年) 撮影／増尾峰明
右上／白錆竹花入「羽衣」(1998年)



「富嶽」(2018年) 撮影/増尾峰明

(丸竹)をそのまま使った竹花入などもあり、私も制作します。

私の所属する日本工芸会では「用の美」、つまり使えてなお美しいものを追求しています。実用品でありながら美術作品として観賞価値を高めていくということです。

また一方、ファイン・アートといって、絵画や彫刻などと同じく用途を持たない鑑賞が目的の純粹芸術の分野があり、日展(日本美術展覧会の略)という公募展では、木工や陶芸と同じく工芸美術に入ります。竹材を使ったオブジェといわれる立体造形や、壁面装飾、空中に吊るす作品なども手掛けます。私の師匠である馬場松堂(ばばしょうどう)はその日展の作家で、私も若いころ応募しましたが、残念ながら一度も入選しませんでした。

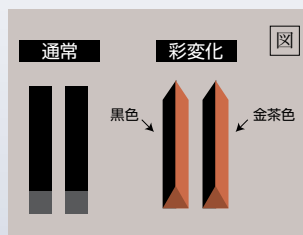
このような美術工芸品は、好きな方や専門でお仕事される方は美術館や百貨店で行われる展覧会などで鑑賞されますが、一般には見る機会は少ないですね。是非一度、展覧会に足を運んで竹工芸の魅力を感じてもらいたいです。

■独自の技法“彩変化”^{さいへんげ}

私が考案した技法で^{さいへんげ}彩変化というものがあります。主に花カゴや盛カゴに使用しますが、こちらをご覧ください(右図)。

右から見ると金茶色ですが、左から見ると黒色になったりして色が変わります。通常のヒゴの断面は○でも□でも一色で染められているのでどこから見ても同じ色です。この技法では四角いヒゴを半分削って三角形にします。そして片方を黒に、残りを金茶色に染めます。これにより三角形の頂点を境にして、見る方向で色が変わって見えるわけです。

額装の「富嶽」という作品があるんですが、見る角度を変えると朝の赤富士になったり、夕方のシルエットの富士になったりします。こうすることで一つの作品から朝夕の時間軸が生まれてくるんです。



私は星を見ることを趣味にしているんですが、そんな宇宙空間や時間など、大きな世界感を自分の作品に込められないかな〜と模索しているのかもしれないですね。(笑)

■竹工芸と竹林とのつながり

私が使っている竹材はマダケで、主に九州や京都産のものを使用します。切り出した青竹のままではなく油抜といって、竹材屋さんが炭火で炙ったり、苛性ソーダの入った湯で煮たりして余分な油を取り除き、天日^{さらしだけ}で干した晒竹^{さらしだけ}を使用します。手間がかかる分、滑らかで光沢もあり、耐久性に優れた白錆竹となります。これを丸竹でもらい、割ってヒゴにし、そのまま使ったり染めたりして制作にあたります。



色合い様々な煤竹と晒竹

こちらにある竹は煤竹^{すすだけ}といって、100年~300年前のものです。古民家の屋根材として囲炉裏や竈の煙に長年燻され、部材として縄跡が残されて風合いがよく、虫にも強いんですね。

神奈川の竹林は正直、あまり馴染みはありませんが、平塚市の七夕まつりには縁あって、短冊など飾り終えた青竹をうまく活用できないかと相談があり、竹芸教室を行うなど地元の竹材活用のお手伝いを長年しました。

(取材:財団 壹崎)

(後編「天体観測と竹工芸へのきっかけ」につづく)

プロフィール 藤塚松星

重要無形文化財「竹工芸」保持者 日本工芸会正会員

企画展「大磯の風土が育んだ・三人の憧憬」
~青磁・竹芸・写真におけるそれぞれの表現~
会期/2023年11月2日(木)~12月10日(日)
場所/大磯町郷土資料館(休館日 毎週月曜日、及び12/1(金))
出品作家/川瀬忍、藤塚松星、増尾峰明



公益財団法人

かながわトラストみどり財団 事業報告

1985年から運動を開始して38年目を迎え、かながわのナショナル・トラスト運動や県土緑化運動を一層推進するため、5つの事業を柱に様々な課題に取り組みました。新型コロナウイルス感染症拡大の対策も行いながら、緑地保全や県民参加の森林づくり事業の強化に取り組みました。



1. 普及啓発事業

かながわのナショナル・トラスト運動への参加促進を図り、普及啓発や会員募集に取り組みました。

主な
取り組み

●イベントでの普及啓発活動

京急百貨店や藤沢市長久保公園等にて小網代の森動植物写真及びかながわのナショナル・トラスト運動パネル展を開催しました。



●小網代の森インフォメーションスペースの出席

小網代の森の玄関口にあたる引橋の三浦市民交流センター内で普及啓発や動植物の情報発信を行っています。コロナ明けの今年度からようやく通年を通して開場できました。

●かながわ緑の大使がイベントでPR活動

若い世代から同世代へ向け、財団が実施するトラスト運動などを広く情報発信する取り組みとして、中高生8名が活動しました。



テレビ神奈川「カナフルTV」、FMヨコハマ「カナガワマフィン」に出演

●その他の取り組み

機関誌ミドリの発行、トラスト運動PRチラシ等作成、WEBサイトの充実、自然観察会等、会員に関する事業、緑化協力金制度の運営



機関誌ミドリ表紙 125、126、127、128 掲載



2. 地域緑化活動事業

県内各地域の特色を生かした緑化やみどりの魅力を創出するため、活動団体への助成や研修会を行いました。

主な
取り組み

●みどりの実践団体研修会を開催

令和4年11月27日(日)横浜情報センターにて地域で取り組む団体の課題解決に向けた研修会を開催しました。

- ・講演 「身近なみどりの大切さをテレビで表現するために」
- ・講師 日本テレビ放送網(株) プロデューサー似鳥利行氏



横浜情報文化センターで研修

みどりの実践団体を募集

町内の緑の手入れ、公園の管理、里山の保全活動などを行っている団体をみどりの実践団体として支援します。お問い合わせは財団までご連絡ください。

- 奨励金交付(登録初年度及び二年度に交付)
- 研修会やイベントなどの案内送付等

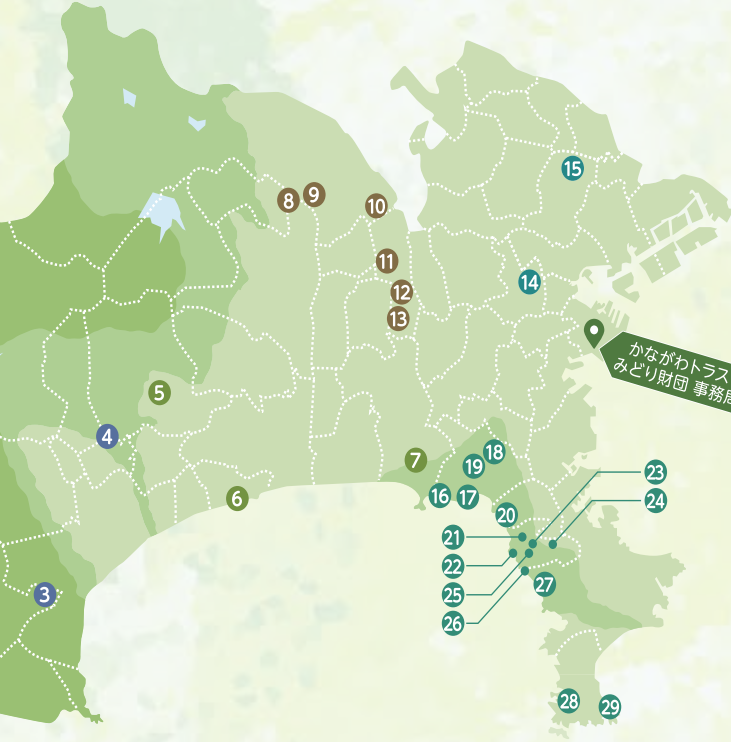
対象団体

- ① 緑化活動の普及活動
- ② 公共施設等の植樹または育成の実施
- ③ みどりのパトロールの実施
- ④ 財団及び公共機関等が実施する緑化事業への協力



3. 緑地保全事業

かながわトラスト緑地マップ



かながわのナショナル・トラスト運動は英国で発展した運動をモデルとして、県が設置する基金と当財団が運動体となり都市近郊で開発されやすい緑地を守り育てる運動です。基金による買い入れや寄贈は神奈川県が行い、土地所有者との保存契約による保全是財団が担う、県と財団が両輪の役割を果たす神奈川方式ともいえるナショナル・トラスト運動です。

県西 地域

- ① 箱根町仙石原緑地 2.33ha 6.83ha (箱根町)
- ② 箱根小塚山緑地 12.69ha (箱根町)
- ③ 塔之沢緑地 0.88ha (箱根町)
- ④ 大井吾妻山緑地 1.24ha (大井町)

湘南 地域

- ⑤ 葛葉緑地 0.56ha 5.74ha (秦野市)
- ⑥ 大磯こゆるぎ緑地 0.17ha (大磯町)
- ⑦ 川名緑地 2.64ha (藤沢市)

県央 地域

- ⑧ 厚木上依知鬼ヶ谷緑地 1.95ha (厚木市)
- ⑨ 下溝緑地 0.10ha (相模原市)
- ⑩ 東林ふれあいの森緑地 0.58ha (相模原市)
- ⑪ 泉の森緑地 0.21ha 2.67ha (大和市)
- ⑫ 久田緑地 7.55ha 0.74ha (大和市)
- ⑬ 谷戸頭・谷戸緑地 0.14ha (大和市)

川崎・横浜 地域

- ⑭ 桜ヶ丘緑地 1.20ha (横浜市)
- ⑮ 日吉本町緑地 0.03ha (横浜市)

三浦半島 地域

- ⑯ 鎌倉広町緑地 15.96ha (鎌倉市)
- ⑰ 鎌倉坂ノ下緑地 2.35ha (鎌倉市)
- ⑱ 鎌倉今泉緑地 0.31ha (鎌倉市)
- ⑲ 台峯緑地 0.52ha (鎌倉市)
- ⑳ 大崎緑地 1.03ha (逗子市)
- ㉑ 長柄緑地 1.62ha (葉山町)
- ㉒ 葉山堀内緑地 0.39ha (葉山町)
- ㉓ 葉山町一色緑地 1.06ha (葉山町)
- ㉔ 葉山滝の坂緑地 5.13ha (葉山町)
- ㉕ 一色台緑地 0.45ha (葉山町)
- ㉖ 長者ヶ崎緑地 1.07ha (横須賀市・葉山町)
- ㉗ 秋谷緑地 0.57ha (横須賀市)
- ㉘ 小網代の森緑地 3.91ha 10.40ha (三浦市)
- ㉙ 三浦金田緑地 0.25ha (三浦市)

(令和5年3月31日現在)

31.52ha 県による買入 27.39ha 財団の緑地保存契約 34.36ha 県による寄贈等の受入れ

主な取り組み

●保存契約緑地等の維持管理

葛葉緑地(秦野市)、久田緑地(大和市)等の自然環境の保全のため、樹木の管理、草刈り及びナラ枯れ被害木の伐採等の適正な管理に努めました。



ナラ枯れ被害木を薪型に細断する。



手を入れる前の放置された竹林



管理が進む竹林

●トラスト緑地の保全支援

自主的に保全活動にあたる小網代の森、久田、桜ヶ丘、葛葉緑地の4団体に対して、トラスト緑地保全支援事業として会費や寄付金を財源に活動費を助成しました。

●その他の取り組み

市町村の緑地等指定事業への助成、蟹田沢の保全



4. 県民参加の森林づくり事業

森林とのふれあいを通じて森林の公益的機能や水源林としての大切さを実感できる機会を提供するため、森林づくりボランティア活動や森林インストラクターの養成などを行いました。

● ボランティア活動の推進

森林ボランティア活動を企画運営するほか、各地域で活躍する団体の活動発表会や小中高校生及び企業団体の森林体験活動への指導者派遣や用具の貸し出しを行いました。



参加者数5,725人/11月19日(土) 枝打ち作業

● 森林インストラクター活動

ボランティア活動の指導者的役割を担う神奈川県森林インストラクターの養成及び活動への講師派遣、ブラッシュアップ研修を行いました。



1月22日(日) 実施のブラッシュアップ研修

● その他の取り組み

森林づくり普及啓発、成長の森の造成、街頭キャンペーン活動、水源林のつどいの開催等



成長の森 植樹会



5. 緑の募金事業

緑の羽根で知られる森林整備や緑化の推進のための募金活動です。街頭募金や募金箱設置、企業団体などの協力をお願いしました。



● 地域緑化の推進

学校緑化の支援や地域住民が自主的に行う植樹活動への助成、丹沢大山地域の保全支援等を行いました。

● その他の取り組み

緑化運動・育樹運動コンクールの開催、竹林整備等支援、(公社)国土緑化推進機構等との協力事業等

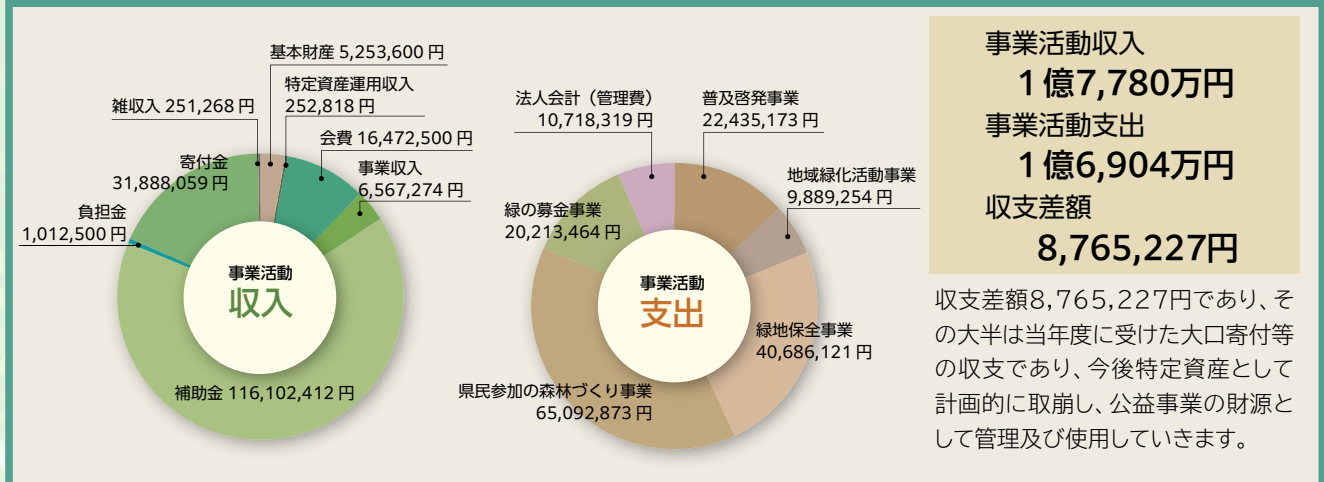
● 緑の少年団の活動支援

森林での体験学習活動、地域での社会奉仕活動、レクリエーション活動等を行う「緑の少年団」の育成強化と活動支援を実施しました。



緑の少年団交流集会

令和4年度(令和4年4月1日~令和5年3月31日) (公財)かながわトラストみどり財団決算報告



収支差額8,765,227円であり、その大半は当年度に受けた大口寄付等の収支であり、今後特定資産として計画的に取崩し、公益事業の財源として管理及び使用していきます。

新規優待施設の紹介

会員証の提示で
オトクにしよう

三浦市 雑貨カフェ 式部

小網代の森の近くにある隠れ家カフェ。自家製野菜を使った日替わりのおまかせ御飯やサンドイッチ、シフォンケーキなどが楽しめます。



三浦市三崎町小網代172
☎090-1509-2932
【営業期間】11:00～18:30
【定休日】月・金曜



会員証提示で飲食代
10%OFF

三浦市 小網代陶房 NEW

陶芸家の井上恵介と井上佳由理が1990年に築業した「小網代陶房」は、小網代の森に隣接し、自然の息吹を感じながら日常使える陶器のお皿やコップ、オブジェ、花器、などを制作しています。また、会員制陶芸教室、1日体験教室も行なっています。

三浦市三崎町小網代158-3
☎046-882-6517
【営業時間】10:00～17:00
【定休日】不定休
※ご来店希望時にお問い合わせください。



会員証提示で購入金額から
10%OFF

かながわトラストみどり財団 自然観察 & 体験イベント

2023年度 2023.12～2024.3/31 イベント詳細及び申込方法はWEBサイトのイベントページにてご確認ください。

歴史見学 かわさき歴史探訪

30人 受付 10/1～10/31 【講師】NPO法人かわさき歴史ガイド協会

12月9日土 9:00～12:30

【コース】川崎駅→旧東海道→宗三寺→東海道かわさき宿交流館→田中本陣跡→初代市長石井泰助生家→六郷橋駅ホーム跡→六郷の渡し場跡→万年屋跡→富士瓦斯紡績工場跡→稲毛神社→砂子通り→佐藤本陣跡→橋樹郡役所跡→チネチッタ→川崎駅

野鳥観察会 境川遊水地公園での冬鳥の野鳥観察会

20人 受付 11/1～11/30 【講師】元(公財)日本鳥類保護連盟調査室長/坂本堅五氏

2024年 1月20日土 9:30～14:00

【コース】六会日大前駅→県立境川遊水地公園(俣野・下飯田・今田遊水地)→元木～☎～湘南台駅
※双眼鏡、昼食(敷物)持参

体験会 シイタケほだ木のお土産つき

各20人 受付 12/1～12/31 ナラ枯れ対策処理体験会

2024年 2月3日土・7日土 9:30～12:30

【コース】桜ヶ丘駅→久田緑地→桜ヶ丘駅
※軍手、持ち帰り用大きな袋持参

自然観察会 曾我丘陵で梅林からの眺望を楽しむ

30人 受付 12/1～12/31 【講師】NPO法人全国森林インストラクター神奈川会

2024年 2月15日土 9:30～15:00

【コース】下曾我駅～中河原梅林～宗我神社～城前寺～別所梅林(昼食)～法蓮寺～原梅林～梅の里センター～下曾我駅 ※昼食(敷物)持参

自然観察会 河村城址と洒水の滝を巡る

20人 受付2024年1/1～1/31 【講師】森林セラピーガイド/猪坂華英氏

2024年 3月22日金 9:30～13:00

【コース】山北駅→河村城址→展望所→洒水の滝→鉄道公園→山北駅

自然観察会 早春の茅ヶ崎サザンビーチ海岸と椿庭園を楽しむ

30人 受付2024年1/1～1/31 【講師】江の島 藤沢ガイドクラブ

2024年 3月8日金 9:30～14:30 雨天中止 予備日 3月15日金

【コース】茅ヶ崎駅→高砂緑地→茅ヶ崎館前→サザンビーチ海岸→茅ヶ崎公園(昼食)→氷室椿園→ヘッドランドビーチ→サイクリング道路→汐見台公園→辻堂海浜公園(一旦解散)辻堂駅もしくは藤沢駅行きバス停を案内。※荒天によりコースの変更もありますことをご了承ください。

森へ行こう! 森林ボランティア 活動に参加しよう!

塚原 南足柄市 塚原水源林

100人(先着順) 受付 10/1～

【集合】開成駅西口 8:30
※専用バスで移動
※自家用車駐車場はありません

間伐 12月3日土 予備日:なし

麻生区黒川 川崎市 黒川海道特別緑地

120人(先着順) 受付 10/1～

【集合】はるひ野駅南口 9:00
※徒歩で移動
※自家用車駐車場はありません

除伐 12月9日土 予備日:12/10日

塚原 南足柄市 塚原水源林

100人(先着順) 受付 10/1～

【集合】開成駅西口 8:30
※専用バスで移動
※自家用車駐車場はありません

間伐 12月20日土 予備日:なし

南区下溝 相模原市 県立相模原公園

100人(先着順) 受付 11/1～

【集合】本厚木駅東口 9:00
県立相模原公園管理事務所前 9:30 ※専用バスで移動
※自家用車駐車場があります

除伐 2024年1月20日土 予備日:1/21日

子易 伊勢原市 大山地区

60人(先着順) 受付 11/1～

【集合】伊勢原駅北口 9:00
※専用バスで移動
※自家用車駐車場はありません

除伐 2024年1月27日土 予備日:1/28日

麻生区上麻生 川崎市 山口白山公園

120人(先着順) 受付 12/1～

【集合】新百合ヶ丘駅南口 9:00
※徒歩で移動
※自家用車駐車場はありません

除伐 2024年2月10日土 予備日:2/11日

南区大野台 相模原市 木もれびの森

100人(先着順) 受付 12/1～

【集合】本厚木駅東口 8:30
/現地 木もれびの森(イヌシデ広場) 9:30 ※専用バスで移動
※自家用車駐車場はありません

除伐 2024年2月17日土 予備日:2/18日

財団X(旧ツイッター)でも開催状況をお知らせしています。

2023年8月5日(土)

やどりき水源林のつどい開催

連日の猛暑の中、森林の恵みを肌で感じ、水源の森林づくりへの理解を深める集いを松田町寄のやどりき水源林で開催しました。

森林インストラクターによるトレッキングや水生生物観察、企業や団体が連携し水源の森林づくりに取り組む「森林再生パートナー制度」のパネル展示など、子どもから大人まで一日中、水源林を満喫いただきました。水は私たちが生活に欠かせないものです。水源地域の森林が元気で活力あることが大切です。

やどりき水源林はこのイベント以外でも週末になると「森の案内人」が水源林内を案内してくれます(冬季は休)。1度訪れてみてはいかがでしょうか。(古舘)



ミス日本みどりの大使の上村さや香さんが歌を披露してくれました

水源林の中に体験テントがたくさんあります



2023年7月22日(土)～23日(日)

ジュニアフォレスター教室

2010年神奈川県で開催された第61回全国植樹祭を契機に、子供たちが森に親しむための知識や経験を得ることを目的に全国森林インストラクター神奈川県と協働で「かながわ・ジュニアフォレスター教室」を年3回開催しています。第1回目は足柄森林公園丸太の森で1泊2日のキャンプを行いました。

1日目 期待と不安を胸にやってきた子供たちを森林インストラクターが優しく迎えます。緊張していた面持ちの子供たちも、テントが立ちあがる頃には打ち解けた様子で、「同じ学校だったかな?」と大人たちが首をかしげるほど。

夕食はカレーライス。包丁で野菜を切っていく、お米を研いだら大好きな火起こしタイム。薪を積んでスギの葉を重ねたら、マッチで火を付け、かまどの上には飯ごうとカレー鍋を置きます。子供たちが代わる代わる薪をくべ、うちわであおぐなど待ちきれない様子でした。

カレーでおなかを満たした後はナイトウォークへ。樹木の上でござごと動く影。声を潜めながら「どこどこ」とささやきあっていると、急に道の反対の木に飛



発表会(上)、集合写真(下)

び移ったムササビ。その瞬間に「座布団が飛んだ!!!」と大歓声をあげました。

2日目 早朝、子供たちは眠たい目をこすってテントから這い出していきます。ラジオ体操で体をほぐし、朝食の後は、林業作業の流れや作業の意義について学び、剪定ばさみを使って散策路沿いに繁茂したササ類を切る「除伐作業」を体験しました。最初は子供たちも気もそぞろでしたが、作業を始めると熱心に取り組



んでくれました。
 キャンプの最終プログラムはリポートレッキング!岩をひっくり返して水生生物を探しつつ、岩や堰堤を乗り越えて川の上流を目指します。最初は濡れることに抵抗があった子供たちも、最後には笑顔で水に親しんでいました。

疲労感と満足感たっぷりにキャンプ場に戻り、それぞれの感想を発表してもらいました。最後にはプログラム修了証が全員に手渡され、2日間のキャンプは幕を閉じました。(藤本)

募集 2回目からの参加でも可能です。

第2回 県立秦野戸川公園で

バームクーヘン作りやクラフト体験(日帰り)

募集メ切:9月29日(金)。参加ご希望の方は、ハガキ・FAX・Eメール・財団HPでイベント名、郵便番号、住所、電話番号、代表連絡先(保護者)、氏名、参加人数、参加者全員の氏名(フリガナ)、性別、生年月日(年齢・学年)を記入してお申込みください。

※お申込み多数の場合は抽選とさせていただきます。

協力企業の紹介

住友三井オートサービス株式会社の取組

丸太のコースター



自動車のリース事業を中心に事業展開を行っている「住友三井オートサービス株式会社」は緑の募金へ協力するほか、南足柄市で社員参加による森林づくり活動を行っています。

環境との関わりを考える機会を持ってもらえるようにと2017年から活動をはじめ、今年で6年目となります。植栽や下刈り、除伐、間伐、経路整備といった森林づくり活動を継続的に実施されています。

令和4年10月には活動5周年記念として、記念の植樹とともに、

間伐木や倒木を利用した丸太のコースターづくり、地元彫刻家の蘭氏によるチェーンソーアートを実施し、今後の森や社員の皆様の思い出に残るものを制作されました。

また林内の樹木が吸収するCO2を測定する調査を始めました。樹木の幹周等から森全体の吸収量の測定を目指します。普段の生活で排出する量と、測定した木々が吸収する量を比較することで森林整備のメリットを感じられるのではないのでしょうか。

チェーンソーアートの金太郎(上)
 間伐体験(下)



2023年8月4日(金)~8月6日(日)

京急百貨店上大岡フェスティバル夏休みSDGsフェア

「小網代の森いきものパネル展&竹を使ってランタンを作ろう!」

財団でも出展の協力として、竹ランタン作りのワークショップを行いました。

事前に、かながわ緑の大使やサポーター会員、財団職員にて緑地からモウソウダケを切り出し、細かく細

断したものを用意。参加した子供たちには素材を選び、ヤスリがけをして装飾するなどを体験しました。

緑地の資源をうまく活用して素敵なランタンが出来上がりました。



(左)京急百貨店 小泉取締役社長
 (右)財団新井専務理事

***小網代の森保全への寄附も**

京急百貨店より紙製手提袋の有料化に伴う収益の一部として「小網代の森保全」へ寄附いただき、6月30日(金)京急百貨店にて感謝状を贈呈しました。

寄附いただいた方に
おゆずりします！

ナラ枯れ薪の有効活用

～令和5年度マキ寄附受付中～

寄附額
2万5千円以上



県内各地でクヌギやコナラなど、ドングリの木が突然、まとまって枯れる「ナラ枯れ」が問題となっています。

ナラ枯れの原因はナラ菌に感染することであり、カシノナガキタイムシ(以下、カシナガ)という体長4~5mmの昆虫が菌の媒介者として伝染させます。カシナガは生きた大径木を選び集団で飛来し繁殖します。幹に穴を開けて卵を産み付け越冬することで、樹木を枯らしてしまいます。翌春に羽化し枯れた木から飛散し、また生きた木に繁殖場所を求めます。

そこで、ナラ枯れの樹木は、冬季中に薪型に細断し林内に堆積し、乾燥処理を行います。割るとすぐに虫が這い出てきますので効果を実感できます。十分に乾燥を与え半年以上経過したものは薪として活用できます。緑地保全への寄附をいただける希望者にお譲りします。

◎マキ寄附 在庫がなくなり次第終了します。

〈寄附額〉2万5千円以上寄附(発送は無料)

〈数量〉軽トラック1台分～

〈薪規格〉神奈川県大和市産

薪1個の長さ40cm、直径13cm
前後
半年以上乾燥させたもの。

〈発送〉軽トラック1台分(約350kg)

スタッフ2名で指定場所に下ろします。

〈範囲〉遠方搬送は避けるため、
おおよそ大和市内及び近隣地域の方をお願いします。

〈問い合わせ〉

財団事務局

マキ寄附担当

電話 / 045-412-2525

メール /

midori@ktm.or.jp



感想を送ってプレゼント

機関誌「ミドリ」やイベントなどの感想を募集中

Ⓐ エゴノキカシラカシの一輪挿し

2名様

久田緑地で処分される樹木を

活用した野花などを一輪飾る花瓶です。

サイズ：たて30×よこ30×高さ80cm程度(1個) 木部
+ガラス管

Ⓑ 『野鳥のくらし写真集』

3名様

著：坂本堅五

自然観察で講師を務める坂本堅五氏が

神奈川県内の公園などで見られる野鳥

を撮影した一冊。身近に見ることのできる野鳥たちの「くらし」をのぞけます。



お便りをいただいた方の中から抽選で
プレゼントします。

応募方法：①『130号プレゼント希望』とⒶ～Ⓑ / ②〒と住所 / ③連絡先(電話やメール) / ④氏名 / ⑤あれば会員番号 / ⑥機関誌「ミドリ」アンケート、イベントや財団活動への感想やご意見など①～⑥を明記し、メールやハガキにて2023年11月30日(木)までにご応募ください。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

● 機関誌ミドリ130号アンケート ●

Q 1. 興味関心を持った誌面を教えてください。

Q 2. 1を選んだ理由。

Q 3. 竹林での作業や活用方法について情報があれば教えてください。昔の思い出話も。(任意)

Q 4. そのほか、感想や取り上げてほしい話題など。

編集

後記

表紙を飾る写真には毎回苦労します。最近では機材の精度も高くコンパクトカメラで良い撮影ができるので、スタッフ皆で持ち寄り素材はたくさんあるのですが、1枚だけで表紙を飾ろうとするとなかなか難しい。

というのも撮影時、一般的にカメラを持つと横位置でシャッターを切ることが多く、縦位置は少ないです。ミドリはA4縦長なので、写真も縦構図が必要なのでした。

横構図の写真が無理に縦にしたり、写真数枚を重ねてみたり、ミドリの顔になるので毎回、試行錯誤の連続です。ならばと今回は横の素材も使えるように帯の位置を変えてみました。

そういえば、スマートフォンは縦位置が多く最近では精度も高くなっているので、そのうち表紙を飾ることになるかもしれません。(壹崎)

所得税・住民税の優遇措置について

(公財) かながわトラストみどり財団への会費や寄附は確定申告をすることによって、所得税、住民税の還付を受けることができます。ただし、県民税や市町村民税の控除は各自治体によって異なります。なお、控除額の計算は①②いずれかを選択することができます。

①税額控除(所得税)

① 所得税の減少分

(年間の公益法人等への寄附金総額 - 2,000円) × 40%

② 住民税の減少分

県民税 (年間の公益法人等への寄附金総額 - 2,000円) × 2%

(②の例)：横浜市税

(年間の公益法人等への寄附金総額 - 2,000円) × 8%

②所得控除

(年間の公益法人等への寄附金総額 - 2,000円)の金額を、その年分の所得から控除するもの。

相続税の非課税

相続された方が相続財産を、相続税の申告期限(亡くなってから10か月)までに寄附された場合は、その寄附額は相続税が非課税となります。

財団事業に

ご支援をお願いします。

緑地保全事業



緑地所有者と保存契約を交わし緑地の維持管理を行うほか、県内各地にあるトラスト緑地の保全を支援する事業を実施。

普及啓発事業



みどりを守り育てる運動を周知し、みどりのトラスト会員への加入や「かながわトラストみどり基金」への募金、かながわのナショナル・トラスト運動への参加促進を図っています。

緑の募金事業

緑の羽根募金として知られる森林整備や緑化の推進を図る募金活動です。財団が県内唯一の取りまとめ機関として活動しています。

財団は県内においてかながわのナショナル・トラスト運動及び県土緑化運動を行い、自然環境及び歴史的環境の保全と緑化の推進を図っております。みどり豊かな神奈川を次の世代に引き継いでいくために、財団事業へのご寄附をお願いします。

地域緑化活動事業



県内で緑化やみどりの魅力を創出することを目的に活動する団体を支援するため、活動助成や研修、情報交流を行っています。

県民参加の森林づくり事業



森林の公益的機能や水源林の大切さを実感できる機会を提供するため、森林づくりボランティア活動を実施。企業や教育機関の森林体験活動や神奈川県森林インストラクターの育成や派遣なども実施しています。

付属の振込用紙からゆうちょ銀行・郵便局の窓口やATMで手続きできます。

同封の振込用紙の取扱いについて

[注意] 2022年1月17日より、現金でのお振込みの場合は手数料がかかります。

- ①本用紙は「キャンペーン用振込用紙」です。会員会費や緑のグッズ募金の振込には使用しないでください。
- ②振込の内訳に記載がない場合は、財団事業への寄附とさせていただきます。
- ③領収書等礼状の不要、ミドリ等の掲載不要(匿名希望)の方は通信欄にをお願いします。

- (公財) かながわトラストみどり財団への寄附金は、所得税・法人税の控除が受けられます

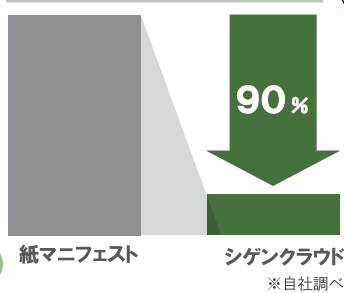


紙の使用を減らませんか？

紙マニフェスト → シゲンクラウド

🕒 紙の使用・作業時間

約 **90%** 削減



産業廃棄物管理システム (排出事業者専用)

シゲンクラウド 検索

MAIL : info@shigencloud.co.jp TEL : 045-222-0888 (専用)

URL : https://shigencloud.jp

かながわのナショナル・トラスト運動をみんなでサポート

イベント活動での 撮影班を募集 します

トラスト会員
の皆様へ

財団の自然観察会や森林体験イベント等における写真や動画の撮影班を募集します。撮影物は、財団ホームページ、機関誌やパンフレット等に掲載し、普及啓発活動に活用させていただきます。



写真+動画撮影愛好者の
会員の皆様にお知らせ



【登録方法】

申込書をご希望の方にお送りします(依頼する際には財団から連絡します)

※ 20歳以上で財団トラスト会員の方

※ 保険加入、交通費支給

※ 写真、動画の著作権はサポーターに帰属し、ホームページや機関誌等に掲載する際、任意でお名前を掲載します。詳しくは、財団事務局まで



「かながわのナショナル・トラスト運動」を一緒に盛り上げていきましょう

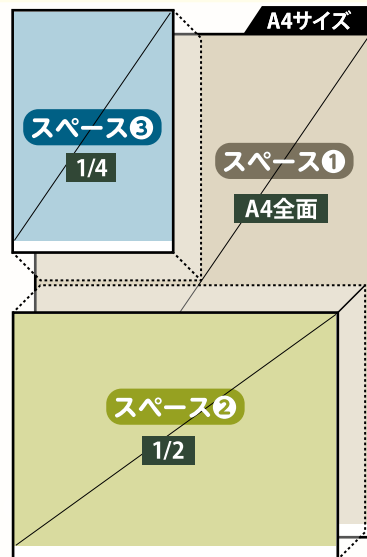
法人・団体会員様を紹介いたします！

法人団体会員など財団事業をご支援いただいている企業・団体様の広告を募集しています。日頃の社会活動をPRする機会としてご利用ください。掲載料は機関紙「ミドリ」の制作費の一部として使用します。

規格 及び 掲載料

| 規格 | サイズ (幅×高さ) | 掲載料 |
|--------|----------------------|---------|
| スペース ① | 全面広告 (180W×270H) | 80,000円 |
| スペース ② | 1/2広告 (180W×130H) | 40,000円 |
| スペース ③ | 1/4広告 (88W×128H) | 20,000円 |

年4回をまとめる場合は、3回分の掲載料でお受けしております



遺贈による寄附について

近年、遺言による寄附について関心が高まり、遺贈を受けた新たな公益事業を行っています。遺言の財産受取人として、当財団をご指定いただけます。

相続税の非課税

相続された方が相続財産を、相続税の申告期限(亡くなられてから10ヶ月)までに当財団へ寄附された場合、その寄附額の相続税が非課税となります。

寄附の事例

ご遺言 「県内の緑化活動に役立てて欲しい(緑の募金事業への指定寄附)」

用途▶ 森林や緑地の維持管理における竹林整備のため竹粉砕機を導入、貸出事業を行っています。竹を割ってそのまま数ミリ程度に粉砕でき、マルチ材や堆肥などに活用できます。



ご遺言 「トラスト緑地の保全のために(緑地保全事業への指定寄附)」

用途▶ 小網代の森等の自然再生活動や環境学習などに活用しています。

